

樋口あゆ子日本楽壇デビュー30周年記念 ベートーヴェンとチャイコフスキー 名曲ピアノコンチェルト

114年の時を経て甦るピアノの黄金時代
『名器ヴィンテージスタインウェイ
CD368』で
名曲ピアノコンチェルトを奏でる



第1部：＜モーツァルト＞

歌劇「フィガロの結婚」序曲 KV492

＜ベートーヴェン＞

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 Op.73「皇帝」

第2部：＜チャイコフスキー＞

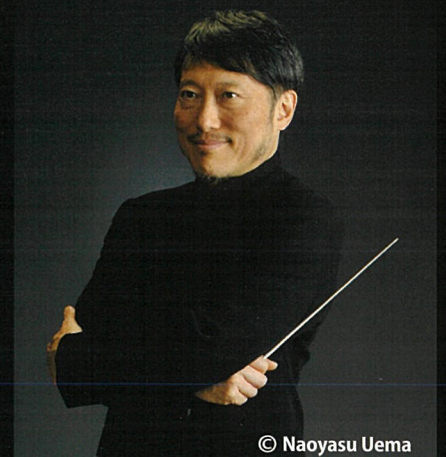
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23

共演



© 大窪道治

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



© Naoyasu Uema

指揮 岩村力

主催・お問い合わせ：プロアルテムジケ  PRO ARTE MUSICA E

協力：タカギクラヴィア株式会社

後援：FM ヨコハマ

昭和音楽大学

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

電子チケット PRO ARTEKET

<https://teket.jp/98/58952>



2026年5月24日(日)
14時開演(13時30分開場)
浜離宮朝日ホール

朝日新聞東京本社・新館2階

全席自由：一般：5,000円 U25：2,500円

※U25は学生証、免許証、マイナンバーカードなど年齢のわかる証明書をご提示ください。

チケット取扱：

プロアルテムジケ 03-3943-6677 www.proarte.jp

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10時から18時)

チケットぴあ [Pコード: 312-179]

■浜離宮朝日ホールアクセス■

都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ

感謝の日本楽壇デビュー30周年記念 名曲ピアノコンチェルト 指揮者岩村力さん、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の皆さまと共に 名器ヴァンテージスタインウェイCD368で奏でる唯一無二の音色の世界へ

ピアニスト 樋口あゆ子

この度、私は、日本楽壇デビュー 30 周年記念を迎えさせて頂く事となりました。
この 30 年、皆様からどれほどの恩を頂き、音楽活動をさせて頂いた事でしょうか・・・

その感謝の気持ちを、東京浜離宮朝日ホールにて、114年の時を経て甦るピアノの黄金時代の名器ヴァンテージスタインウェイCD368でベートーヴェンピアノ協奏曲第5番「皇帝」とチャイコフスキーピアノ協奏曲第1番を、私が最も信頼する指揮者岩村力さん、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の皆さまと共に、ご来場の皆様にお届けさせて頂きます。

皆様へ、唯一無二の音色が届きますように・・・

●使用ピアノ・CD368について

スタインウェイ & サンズ社は、1853年ヘンリー・E・スタインウェイ氏によってニューヨークに設立されたメーカーです。ヨーロッパではアメリカのピアノというイメージが強く、現在のようにヨーロッパでポピュラーになったのは第2次世界大戦以降になりますが、1883年以降にハンブルグにも工場を設立、現在も本社はニューヨークにあります。パデレフスキ、ラフマニノフ、ルビンシュタイン、ホロヴィッツ、グレン・ゲールドなど世界的な巨匠たちが愛用したピアノ、ニューヨーク・スタインウェイ。自由とお金を求めてニューヨークに集まってきた、ロシアやヨーロッパの巨匠たち。彼らがピアノに求めた音色、タッチ、及びその反応に答えるべく、スタインウェイは、次々に改良を加え、近代ピアノの構造を完成させました。本公演で使用する1912年製のCD368(CDとは、Concert D型の略)は、スタインウェイ本社コンサート部の貸出用として当時活躍していた楽器。1900年代初頭のスタインウェイは、ゴールデンエイジと呼ばれるほどクオリティが高く、それは先に述べたように巨匠達の時代真只中であり、近代クラシックの黄金時代の楽器だからです。1800年代のロマン派独特の香りを残し、太い重低音と輝かしい高音、メロウな中音域、豊かな色彩を持つこの楽器は、多くの巨匠達と過ぎてきたキャリアの余裕すら感じられます。まさにクラシック黄金時代のすべてを語ってくれる楽器です。



..写真提供 日本コロムビア 撮影 武藤章..

(文・タカギクラヴィア株式会社)

< ピアニスト 樋口あゆ子 Ayuko Higuchi >

兵庫県芦屋市出身。故・中村紘子に師事。

第39回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位。(毎日新聞社)第17回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ・文部科学大臣賞。(一社全日本ピアノ指導者協会)第10回ポルト市国際音楽コンクール第1位大賞。(ポルトガル)

桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業、同大学音楽研究科演奏学科ピアノ専攻修了。明治安田生命文化財団奨学生として渡仏し、飛び級にてパリ・エコールノルマル音楽院演奏家課程審査員満場一致卒業。

93年ポルトガル・ポルト市リボリホールにてカーメン・ゴレミノフ指揮ポルト市交響楽団とショパンピアノ協奏曲第1番を、94年オムリハダミ指揮同交響楽団とベートーヴェン「皇帝」を共演。その後ポルトガル、スペイン、ポーランド、フランス各国でピアノ・リサイタル、オーケストラとの共演でヨーロッパ楽壇デビュー。95年第31回ソニーミュージックファンデーション主催「今日の演奏」デビューリサイタルシリーズで東京文化会館小ホール、大阪いずみホールにてピアノ・リサイタル開催し日本楽壇デビュー。2006年New Yorkカーネギーホール・ワイル・ピアノ・リサイタルにてアメリカデビュー。アジアでは、2004年からベトナムの子供たちとの触れ合いコンサートを行っており、08年第126代天皇陛下ご臨席ベトナムフェスティバルにて日本代表ピアニストとしてピアノ・リサイタル開催。2010年日本楽壇デビュー15周年を迎え、OECD日本政府代表部主催、フランス・パリ・ピアノ・リサイタルツアー開催。15年ベトナム社会主義共和国グエン・フーチョン国家主席来日祝賀会にて御前演奏を行う。16年1月日本楽壇デビュー20周年記念全国ピアノ・リサイタルツアー開催(東京浜離宮朝日ホール、大阪、名古屋)。CDは日本コロムビアDENONレーベルよりショパンとリストピアノ名曲集『ソウル・オブ・ザ・ピアノ』『ラフマニノフ・ガーシュウィン、ベトナム民謡』等をリリース。

現在、昭和音楽大学・短期大学・大学院ピアノ専攻非常勤講師。日本ベトナムピアノ・フェスティバル総音楽監督・実行委員長。ラジオFMヨコハマ「ピアノワイナリー響きのクラシック」(毎・土18:45分より19:00放送)司会。(一社)全日本ピアノ指導者協会評議員。ピティナピアノ・ステップ渋谷松濤ステーション代表。

2026年第4回日本ベトナムピアノ・フェスティバル ベトナム公演開催予定。(日本国外務省後援事業)

< 指揮者・岩村力 Chikara Iwamura >

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタートレーナー指揮者コンクール優勝ほか、数多くのコンクールにて入賞。これまでにハンガリー響、NHK交響楽団など国内外のオーケストラを指揮し高い評価を得ている。07年にはアルゲリッチの要請により、イタリア/コルティナにてパドヴァ室内管弦楽団と共演するなど国際的に活躍。国内オーケストラの定期演奏会では、日本人作曲家の作品を取り上げ高い評価を博す。また、近年はナレーター・朗読家としての研鑽も積み、ライブや収録における新たな展開を重ねている。2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター、2010年、兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクターに就任し現在に至る。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。

< 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 > Tokyo City Philharmonic Orchestra

1975年設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫を擁する。年間100回を超える公演は、定期演奏会のほかオペラ、バレエ、テレビ出演、CD録音までその活動は多岐にわたる。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点として地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。2021年5月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会(演奏会形式)を開催し、2022年8月に第30回三菱UFJ信託音楽賞を受賞。2025年4月に楽団創立50周年を迎え、さらなる活躍がもっとも期待されているオーケストラである。

ベトナムと日本を音楽でつなぐピアニスト! 樋口あゆ子 ラフマニノフ、ガーシュウィン、 ベトナム民謡 発売中

《収録曲》1. 愛の喜び(クライスラー=ラフマニノフ) 2. リラの花 3. 前奏曲(鐘) 4. ピアノ協奏曲第2番
～第2楽章 ピアノ独奏版(安良岡章夫:編曲) 5～7. ピアノ・ソナタ第2番(以上:ラフマニノフ作曲)/
8. アイ・ガット・リズム 9. ラブソディー・イン・ブルー(以上:ガーシュウィン作曲)/ベトナム民謡ファン
タジー(安良岡章夫:編曲) 世界初録音! 10. 南懐歌 11. 米太鼓 12. 流れる雲 13. 黒毛馬の傘の歌

★ 樋口あゆ子(ピアノ) ■ 録音: 2011年5月4～6日
相模湖交流センター CD●COCQ-84899 ¥3,000(税込)

DENON



NIPPON COLUMBIA CO., LTD.

